

品質問題が相次ぐいまだからこそ理解したい!

工程FMEAの正しい進め方と 品質不良の未然防止の活動方法

—「気づく技術力」を鍛え、工程改善案を導き出し、良い議論で未然防止につなげる

日時 2026年6月12日(金) 10:00~17:00

(9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 皆川 一二 氏 株式会社 ワールドテック 講師、岐阜大学 工学部 非常勤講師、日本機械学会 永年会員、自動車技術会 永年会員、日本品質管理学会 会員、日本品質工学会 会員、大学教育学会 会員

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)

受講効果

- [1] 工程FMEAの基礎から不具合の未然防止のコツまでを習得できます。
- [2] 製造工程の不具合に「気づく技術力」と未然防止活動につなげる力が得られます。
- [3] 工程FMEAの結果をQC工程表や作業標準所に展開し、改善する手法がわかります。
- [4] 熱処理工程や自動車部品の組立工程などでの工程FMEAの具体的な事例が学べます。

プログラム

1. 従来工程FMEAの問題点と本工程FMEA実施のポイント

- 1-1 リコール届け出件数
- 1-2 不具合の原因
- 1-3 製造工程の『品質づくりこみ』不足の例
- 1-4 製造工程での品質のつくり込み
- 1-5 工程FMEAの目的
- 1-6 工程FMEA実施のポイント

- 3-2-4 故障の影響と影響度の検討
- 3-2-5 故障の原因分析(特性要因系統図など)
- 3-2-6 故障の原因防止の工程の明確化と発生度の検討
- 3-2-7 検出方法の明確化と検討度の検討
- 3-2-8 総合評価と対策要否決定
(①故障の影響を評価する/②発生度・影響度・検出度を評価する/③総合評価と処置)
- 3-2-9 故障モード対策
- 3-2-10 再評価

2. 不具合未然防止のための工程FMEA実施の留意点

- 2-1 いつやるのか?(When、実施時期)
- 2-2 どれをやるのか?(What、実施対象機種)
- 2-3 どこをやるのか?(Where、実施対象部位)
- 2-4 誰がやるのか?(Who、実施の担当)
- 2-5 どうやるのか?(How、工程FMEAで強化すべきこと)

4. 工程FMEAの実施事例

(※「3」のフローをもとに解説)

5. 工程FMEA演習(グループ演習)

- 5-1 工程FMEA演習概要
- 5-2 演習課題(①インパクトレンチ作業/②ドリル加工ほか)
- 5-3 工程FMEAの道具
- 5-4 演習時作成シート
- 5-5 工程FMEAの実施演習
- 5-6 工程FMEAミニデザインレビュー
代表グループによる発表と討議

6. 工程FMEAのまとめと質疑応答

3. 工程FMEAの実施手順

【STEP1】

- 3-1-1 対象工程の明確化
- 3-1-2 製造工程フローの明確化
- 3-1-3 工程の保証特性の明確化

【STEP2】

- 3-2-1 対象工程の列挙
- 3-2-2 工程機能の列挙
- 3-2-3 故障モードの抽出(工程故障モードの抽出方法)
(①機能を分割し、分割した機能ごとに故障モードを考える/
②製造保証項目を阻害する工程故障モードを考える/4Mで考える)

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

